

平成 29 年度 事業計画

[本年度の目標]

本学会の公益目的事業の円滑な遂行を図るとともに社会との接点を広げ、学術研究の成果として得られる情報を学会内で学の立場から統合・整理・発展させ、かつ広く社会に発信していく活動を充実させるため、以下の各種事業を行う。特に、日本水産学会創立 85 周年記念に係る事業の成功に向けて精力的に取り組む。

1. 役員会・組織運営等に関する事項

(1) 総会

a) 定時社員総会は、定款第 13 条に基づき、平成 29 年 3 月 28 日に開催する。また、必要がある場合には臨時社員総会を開催する。

(2) 理事会

a) 通常理事会は、定款第 29 条及び理事会運営規程第 2 条 2 項に基づき、7 回開催する。また、理事会運営規程第 2 条 3 項による臨時理事会は即時開催する。

(3) 支部

a) 北海道支部

支部総会を年 1 回（開催日未定）、支部幹事会を年 1 回（開催日未定）開催する。

b) 東北支部

支部総会を年 1 回（平成 30 年 2 月予定）、支部連絡調整員会議を年 1 回（平成 29 年 6 月予定）、支部幹事会を年 2 回（平成 29 年 6 月及び平成 30 年 2 月予定）、支部幹事・支部連絡調整員合同会議を年 1 回（平成 29 年 10 月予定）開催する。

c) 関東支部

支部幹事会を年 1 回（平成 29 年 6 月予定）開催する。

d) 中部支部

支部総会を年 1 回（開催日未定）、支部幹事会を年 1 回（開催日未定）開催する。

e) 近畿支部

支部幹事会を年 2 回（開催日未定、於京都大学）開催する。

f) 中国・四国支部

支部総会を年 1 回（開催日未定）、支部幹事会を年 1 回（開催日未定）開催する。

g) 九州支部

支部総会を年 1 回（開催日未定）、支部幹事会を年 1 回（開催日未定）開催する。

(4) 委員会

a) 編集委員会

学会誌の編集方針、報文の原稿の書き方、印刷物の体裁、オンライン投稿と審査に関する手続き等及び論文賞候補の推薦に係る必要事項を審議するため、年 4 回定期的に開催するほか、必要に応じて随時開催する。

b) 企画広報委員会

和文誌に掲載する記事の企画を行うほか、和文誌の編集発行、学会ホームページの運営及び新たな事業の企画と広報に関する業務について審議するため、隔月 1 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

c) 学会賞選考委員会

学会賞受賞候補者及び日本農学賞その他の受賞候補者について審議するため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

d) シンポジウム企画委員会

シンポジウムとミニシンポジウムの題目、企画責任者及び水産学シリーズへの刊行の推薦について審議するため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

e) 出版委員会

水産学シリーズの出版企画、水産学シリーズ以外の学術図書の出版企画、出版社との契約事項等を審議するため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

f) 水産環境保全委員会

水産環境の保全に関連する諸事項について審議し、シンポジウム、講演会の企画・開催等に関連する業務を行うため、年

2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

g) 漁業懇話会委員会

懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

h) 水産利用懇話会委員会

懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年 3 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

i) 水産増殖懇話会委員会

懇話会、講演会、研究会等の企画、開催に関する事項を審議するため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

j) 国際交流委員会

国際交流に関する諸事項を審議するため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

k) 選挙管理委員会

理事及び監事の候補者の選挙、学会賞選考委員の選挙ならびに役員の欠員のための補欠の候補者の選挙に関する審議、業務を行うため、必要に応じて随時開催する。

l) 水産教育推進委員会

水産教育に係る事項について審議し、理事会の承認を得て行う事業を実施するため、年 4 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

m) 水産技術誌監修委員会

水産分野の技術者、研究者、事業者等を対象として国立研究開発法人水産研究・教育機構が企画・編集し、定期的に刊行する和文誌「水産技術」について、編集の方針を提示し、編集の監督を行うため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

n) 水産政策委員会

会長あるいは理事会の諮問に対応して各種の提言案を作成し、理事会に答申するため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

o) 男女共同参画推進委員会

本学会における男女共同参画に関する諸事項を審議し、関連の業務を行うため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

[公益目的事業 1]

研究発表会及び学術講演会・シンポジウムの開催ならびに研究業績の表彰による水産学の学術の発展と科学技術の振興を推進するため、以下の事業を行う。

2. 研究発表会及び学術講演会等の開催による水産学研究の推進事業（定款第 4 条 1 項 1 号に定める事業）

(1) 研究発表会

a) 春季大会：平成 29 年 3 月 26 日～3 月 30 日

於東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区）

大会委員長 菅野信弘

研究発表 口頭、ポスター

高校生によるポスター発表

シンポジウム 3 件、ミニシンポジウム 4 件

平成 28 年度学会賞受賞者講演 12 題

b) 日本水産学会創立 85 周年記念国際シンポジウム：平成 29 年 9 月 22 日～9 月 24 日

於東京海洋大学品川キャンパス

大会委員長 佐藤秀一

研究発表 口頭、ポスター

(2) シンポジウム

春季大会開催時（平成 29 年 3 月 26 日、於東京海洋大学品川キャンパス）

a) 「森川里海のつながりを科学で説明できるか？」

企画責任者：山下 洋・笠井亮秀・白岩孝行・白山義久

b) 「福島県の淡水域における放射能汚染と魚類に及ぼす影響：これまでとこれから」

企画責任者：中嶋正道・平井俊朗・阪本憲司・鈴木俊二・酒井義文

c) 「水圏生物タンパク質科学の新展開」

企画責任者：尾島孝男・落合芳博・豊原治彦・長島裕二・和田律子

(3) ミニシンポジウム

春季大会開催時(平成29年3月30日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

a) 「水産資源データ解析と予測モデル」

企画責任者：岡村 寛・北門利英・庄野 宏

b) 「サバ~資源・養殖・加工・ブランド化をシームレスに繋ぐ若手研究者の集い~」

企画責任者：竹内 裕・橋本加奈子・竹谷裕平・水澤寛太

c) 「寄生虫症を宿主の視点から考える」

企画責任者：末武弘章・坂本 崇・伊藤直樹・田角聡志

d) 「実験・実習再考 - 水産化学・食品系で扱うべき内容」

企画責任者：神保 充・大泉 徹・落合芳博

(4) 各支部が行う研究発表会及び講演会

a) 北海道支部

支部大会の開催(シンポジウム, 一般講演, 若手の企画講演会, 平成29年12月9日・10日, 於北海道大学)

b) 東北支部

支部大会の開催(ミニシンポジウム, 研究発表, 平成29年10月予定)

支部例会の開催(講演会, 平成30年2月予定)

c) 中部支部

支部大会の開催(研究発表, ポスター発表(あるいは講演会), 開催日未定)

d) 近畿支部

支部前期例会の開催(研究テーマに関するプレゼンテーション及びディスカッション, 開催日未定, 於京都大学)

支部後期例会の開催(研究発表, 開催日未定, 於京都大学)

e) 中国・四国支部

支部例会の開催(開催日未定)

f) 九州支部

支部大会・例会の開催(研究発表, 高校生による研究発表, 公開シンポジウム, 開催日未定)

若手交流会の開催(平成29年7月29日, 於長崎大学水産学部)

(5) 各委員会が行う研究発表会及び講演会

a) 企画広報委員会

水産に関する勉強会の開催(開催日未定)

b) 水産環境保全委員会

シンポジウム「水産環境におけるプラスチックの汚染と影響」の開催

(平成29年3月26日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウム「我が国における沿岸環境の現状と問題点, および将来展望(仮)」の開催(開催日未定)

c) 漁業懇話会委員会

第69回講演会「持続的漁業に最適な漁獲技術とは?」の開催(平成29年3月26日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

漁業懇話会報の発行

d) 水産利用懇話会委員会

平成29年度第1回講演会の開催(平成29年6月予定, 於東京海洋大学品川キャンパス)

平成29年度第2回講演会の開催(平成29年11月予定, 於東京海洋大学品川キャンパス)

e) 水産増殖懇話会委員会

平成29年度第1回講演会「沿岸資源の増殖と管理の最前線 - その現状と展望 -」の開催

(平成29年3月26日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

平成29年度第2回講演会の開催(平成29年9月予定, 於東京海洋大学品川キャンパス)

f) 国際交流委員会

講演会の開催(平成29年3月, 於東京海洋大学品川キャンパス)

5か国合同シンポジウムの開催(平成29年9月, 於東京海洋大学品川キャンパス)

g) 水産教育推進委員会

水産高校教員補充に関する情報の共有化の検討についての勉強会(平成29年3月26日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

h) 水産政策委員会

シンポジウム「水産資源管理の国際協力 - 開発途上国にとって有効な水産資源管理アプローチと日本の技術、知見の活用 - 」
(平成 29 年 3 月 26 日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

i) 男女共同参画推進委員会

談話会(ランチョンセミナー)「第 2 回水産学会におけるやさしい男女共同参画」
(平成 29 年 3 月予定, 於東京海洋大学品川キャンパス)

j) その他

(6) 日本水産学会創立 85 周年に係る事業

a) 日本水産学会創立 85 周年記念事業委員会の審議に基づく活動を行う。

3. 関連学会等との連携及び協力ならびに社会連携の推進事業(定款第 4 条 1 項 3 号に定める事業)

(1) 関連学会等との連携及び協力

a) 第 26 回海洋工学シンポジウムの協賛

主催 日本海洋工学会・日本船舶海洋工学会, 協賛 海洋音響学会 他 31 団体
平成 29 年 3 月 6 日・7 日, 於日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館(東京都千代田区)

b) 第 28 回食品ハイドロコロイドシンポジウム

主催 食品ハイドロコロイド研究会, 協賛 化学工学会 他 25 団体
平成 29 年 5 月 16 日, 於東京海洋大学薬水会館大会議室(東京都港区)

c) 食品ハイドロコロイドセミナー 2017

主催 食品ハイドロコロイド研究会, 協賛 化学工学会 他 25 団体
平成 29 年 5 月 17 日, 於東京海洋大学薬水会館大会議室

d) 第 19 回マリンバイオテクノロジー学会大会の協賛

主催 マリンバイオテクノロジー学会, 協賛 化学工学会 他 23 学協会
平成 29 年 6 月 3 日・4 日, 於東北大学青葉山キャンパス(宮城県仙台市)

e) 第 54 回アイソトープ・放射線研究発表会の協賛

主催 日本アイソトープ協会, 協賛 応用物理学会 他 61 学協会
平成 29 年 7 月 5 日~7 日, 於東京大学弥生講堂(東京都文京区)

f) The 14th International Symposium on Biomineralization の後援

主催 バイオミネラルイゼーション研究会, 後援 日本農芸化学会 他 10 団体
平成 29 年 10 月 9 日~13 日, 於つくば国際会議場(茨城県つくば市)

g) その他, 関連学会等が主催する講演会等の共催, 協賛, 後援

(2) 日本学術会議が行う事業への協力

(3) 日本農学会が行う事業への協力

(4) (公財)農学会が行う事業への協力

a) 技術者教育推進委員会委員の派遣

(5) (公社)日本技術士会 CPD(継続研鑽)行事参加票の配布

(6) 水産・海洋科学研究連絡協議会への参加及び代表の派遣

(7) 海外との学术交流等

a) 平成 29 年度公益社団法人日本水産学会春季大会へアメリカ水産学会, イギリス諸島水産学会, 韓国水産科学会及び中国水産学会の代表者を招聘

b) 第 147 回アメリカ水産学会大会(2017 年 8 月 20 日~24 日, アメリカ・フロリダ)への代表者及び委員の派遣

c) イギリス諸島水産学会(2017 年 7 月 3 日~7 日, イギリス・エクサター)への代表者及び委員の派遣

d) 韓国水産科学会大会への代表者, 委員及び招待講演者の派遣

e) 中国水産学会大会への代表者, 委員及び招待講演者の派遣

f) アメリカ水産学会, イギリス諸島水産学会, 韓国水産科学会及び中国水産学会との学術雑誌の交換

g) 国際交流懇談会の開催(2017 年 3 月予定)

h) アジア水産学会大会及び評議員会への評議員の派遣

i) 世界水産学協議会(WCFS)との連携

j) FAO, PICES との連携

k) JICA, 若手会員に対するインターンシップ, 海外水産関係大会の参加等水産教育プログラムの推進

- 1) その他, 文献交換の斡旋, 外国人研究者との交流等海外との学术交流に関する事業
- (8) ベルソープックス刊行への協力
- (9) 水産技術誌の監修
 - a) 水産分野の技術者, 研究者, 事業者等を対象として国立研究開発法人水産研究・教育機構が企画・編集し, 定期的に刊行する和文誌「水産技術」を監修する。
- (10) 第36回『海とさかな』自由研究・作品コンクールへの協力
 - a) 小学生を対象とした, 朝日学生新聞社主催の海と魚をテーマとした作品コンクールにおいて, 募集ポスターやガイドブックの配付, 出張講義の講師派遣及び審査員派遣等の協力を行う。
- (11) 東日本大震災災害復興支援に関する活動
 - a) 東日本大震災災害復興支援検討特別委員会での審議に基づく活動を行う。
- (12) 男女共同参画の推進
 - a) 男女共同参画学協会連絡会主催シンポジウムへの出席及びポスター展示
 - b) 東京海洋大学女性研究者支援機構との連携
- (13) その他

4. 研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業(定款第4条1項4号に定める事業)

- (1) 日本水産学会における賞の授与
学会賞授賞規程に基づき, 以下の賞を授与する。
 - a) 日本水産学会賞
 - b) 日本水産学会功績賞
 - c) 水産学進歩賞
 - d) 水産学奨励賞
 - e) 水産学技術賞
- (2) 日本水産学会論文賞の授与
論文賞授賞規程に基づき, 日本水産学会論文賞を授与する。
- (3) 各支部・委員会等における表彰
 - a) 北海道支部
 - 最優秀講演賞
 - 最優秀学生賞
 - b) 東北支部
 - 東北支部長賞
 - 水産・海洋系高等学校生徒研究発表大会における支部長奨励賞
 - c) 関東支部
 - 春季大会高校生による研究発表会における表彰
 - d) 中部支部
 - 支部長賞
 - 優秀発表賞
 - e) 近畿支部
 - 優秀発表賞
 - f) 中国・四国支部
 - 優秀発表賞
 - ポスター発表賞
 - g) 九州支部
 - 支部長賞
 - 学生優秀発表賞
 - 高校生による優秀研究発表
 - h) 漁業懇話会委員会
 - 漁業懇話会奨励賞
 - i) その他
- (4) 『海とさかな』自由研究・作品コンクールにおける日本水産学会会長賞の授与

(5) 他の学術関係の賞等に対する候補者の推薦

[公益目的事業 2]

水産学に関する学会誌及び学術図書の刊行ならびにインターネットによる情報提供を通じて、水産学研究の科学技術成果の普及を行うため、以下の事業を行う。

5. 学会誌及び学術図書の刊行による水産学研究の普及事業（定款第4条1項2号に定める事業）

(1) 学会誌の刊行

a) 日本水産学会誌第83巻2号～第84巻1号まで計6冊[報文65編, 総説, 企画記事, 会告, 会報等総ページ約1,300ページ(各号4,200部刊行予定)]

b) Fisheries Science 第83巻2号～第84巻1号まで計6冊[報文120編, 総説等総ページ約1,200ページ(各号450部刊行予定)]

(2) 水産学シリーズの刊行

a) 第184号「新技術開発による東日本大震災からの復興・再生(仮)」竹内俊郎編, 平成29年3月下旬, 300部刊行予定

b) 第185号「地下水・湧水を介した陸海のつながり」小路 淳編

c) 第186号「水産物に関わる冷凍研究の課題と展望」岡崎恵美子編

d) 第187号「貝毒 - 新たな貝毒リスク管理措置ガイドラインと導入に向けた研究 - 」鈴木敏之編, 平成29年9月下旬, 300部刊行予定

e) 第100号～第150号の電子書籍化, 平成29年11月刊行予定

(3) 英文書籍 Fisheries Science Series の刊行

(4) 日本水産学会誌のJ-STAGE 上における公開